

【Result Report】

| Company |

株式会社 ブシロード

| Code |

7803 : 東証マザーズ
TES Mothers

| Analyst |

C&A Investment Research
主席シニアアナリスト

Senior Analyst

黒澤 真

Makoto Kurosawa

| Date of Issue |

11/15/2021

Ver : 20211115-1

C&A

C&A Investment Research

【FY21/6 Result Report】

22/6 期 1 Q の営業益は期初の通期計画を超過達成

目標株価:2,050 円→3,260 円に引き上げ

Strong Buy レーティング 継続

【業績予想】

2022/6 期 (C&A 予想)

売上高 : 39,300 百万円、営業利益 : 3,100 百万円、
経常利益 : 4,000 百万円、当期純利益 : 2,200 百万円
(11/15/2021 現在)

【ポイント】

今 22/6 期 1 Q は営業利益 13.2 億円と期初通期計画を超過達成へ
TCG(トレーディングカードゲーム)、MD(マーチャンダイジング)が好調
会社は 22/6 期予想を上方修正もライブ事業をコンサバにみる
コロナの影響はまだ不透明もライブの収容人員規制の解除は追い風
IP デイベロッパー戦略のバージョンアップとグローバル体制の強化策で V 字回復ロードへ

(11/15/2021 現在)

業績は正にV字回復ロードへ

< 株価動向 >

2019年7月29日の東証マザーズ上場時には19/7期営業益が3,059百万円と史上最高益を更新見通しにあり、株価は更なる成長期待から2019年11月28日に4,280円まで上昇。不運にも翌20年には新型コロナの影響によるライブ、イベントの中止などもあり20/7期下期から収益が悪化し、株価は20年3月19日に1,380円の安値を記録した。20/7期4Qに一旦、営業黒字転換を機に3,600円台まで回復したが、21/6期1Qに再び営業赤字となったことから2,050円の年初来安値(21年1月8日)を記録。その後は、2Q~3Qの黒字定着により3,000円前後で安定したが、6月24日に21/6期の会社ガイダンスにおいて4Qが再度の赤字見通しであったこともあり2,080円割れまで売られた。

21/6期決算の上振れ着地、今22/6期期初ガイダンスのV回復、自己株買い、株式分割の公表を機に反転、上昇基調にあった。22/6期1Qの好決算、業績上方修正でストップ高の1,990円まで上昇。前期4Q時点からは90%超の大幅な上昇を示現している。

< 業績動向 >

前21/6期(11ヵ月決算)は売上高32,569百万円、前期の12ヵ月決算比較で1.3%減と健闘した。米国を拠点とした越境ECショップである「Bushiroad Global Online Store」やコミックブシロードWEBなど新規のプラットフォームの立ち上げやコロナ禍であってもメディアミックスを期した音楽イベントを継続的に開催したことの成果が出始めている。半面、営業利益は344百万円と直前の会社計画200百万円を上回ったが、先行投資負担や音楽イベントの制作費負担が大きかった。

今22/6期1Qは売上高10,484百万円、前年同期比16.9%増となり、営業利益は1,321百万円、前年同期の83百万円の赤字から黒字転換となり、一気に史上最高益更新までの回復となった。デジタルIPではTCGが3,623百万円、同25.9%増、MDが1,290百万円、同59.9%増と国内外で販売が好調であった。デジタルIP部門では売上高が10,484百万円、同16.9%増となり、前年1QにMOG(モバイルオンラインゲーム)で積極的な広告宣伝費をかけた反動から広告宣伝費が9億円減少したこともあり、同部門の営業利益は1,353百万円、前年同期の3百万円から大幅な改善となった。

その半面、ライブIP部門は売上高2,449百万円、同5.6%増となったが、コロナ禍で入場制限規制などから新日本プロレスの興行収入の伸び悩みが影響した。音楽はコンサート、舞台の件数でこなし売上高1,278百万円、同19.3%増と史上最高水準を更新し、制作コストの削減の効果も出ている。

ライブIPではコロナの影響に対するコンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金の受取り約3億円が営業外収益に計上された(期初計画には織り込んでいなかった)ことから、経常利益は1,669百万円と営業利益を上回る改善となった。

会社は1Qの好決算を受け22/6通期の業績見通しを上方修正。売上高は期初計画比20億円増の387億円、前年比18.8%増へ、営業利益は同9億円増の22億円、同5.4倍増へ、経常利益が同18億円増の31億円、同4.3倍増へと修正された。売上高はTCG「ヴァイスシュヴァルツ」の販売が国内外で好調に推移したことによって期初の計画を上回るペースにあり、MDも自社IPだけではなく他社IPを活用したグッズ販売の好調なことが寄与している。会社はライブIPに関してコロナの影響が不透明なことから慎重な計画を維持している。なお、経常利益にはコンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金6億円を計上している。

C&Aでは今22/6期の業績見通しの見直し営業利益は31億円と会社計画を9億円上回る水準に引上げ、

19/7期の史上最高益 3,059 億円を更新すると予想する。緊急事態宣言が解除され、アフターコロナでのライブ IP での観客動員数の増加、海外販売の更なる強化・拡大、他社 IP を呼び込むプラットフォーム型ビジネスをプロデュースすることにより最高益、往年の収益性の回復が期待できる。既に、1Q では広告宣伝費の抑制の効果もあるが、売上高原価率が 62.4%と映像関連の減価償却費 5.9 億円の計上も 7 ポイントの大幅な改善となっている。

<投資判断>

C&A では、これまで 23/6 期には史上最高益を狙えるまでに収益力が高まると予想し、目標株価を 23/6 期予想 PER30 倍弱の 4,100 円(株式分割後の修正値では 2,050 円)としてきた。今 22/6 期 1Q 決算からは最高益更新が 1 年前倒しとなる可能性が高く、ROE が来 23/6 期には 17.5%前後に高まると予想される。よって、新規の目標株価は今 22/6 期予想 PER で 37.5 倍の 3,260 円への引き上げとなる。

なお、同社は株主還元策の一環として、8 月 16 日～11 月 30 日の予定で自己株買い上限 80 万株(発行済み株式数の 4.86%)の実施中であり、10 月 1 日付けでの株式の 1 株を 2 株への分割、更には株主優待制度を予定している。これらの株主還元策も株価の押し上げ効果として期待できる。

<業績推移 ブシロード(7803)>

(単位:百万円、円、%)

	売上高	yoy	営業利益	yoy	経常利益	yoy	純利益	yoy	1株利益	1株配当	1株純資産
17/7期	22,759	52.2	306	-	324	-59.8	-22	-	-	0.0	226.62
18/7期	28,890	26.9	2,929	857	2,996	825	1,637	TB	101.48	0.0	359.02
19/7 3Q	23,522	-	2,500	-	2,522	-	1,450	-	106.57		
19/7 4Q	8,654	-	559	-	509	-	350	-	25.55		
19/7期	32,176	11.4	3,059	4.4	3,031	1	1,800	10	132.12	0.0	720.04
20/7 1Q	8,306	-	1,203	-	1,224	-	642	-	40.24	-	
20/7 2Q	9,123	-	1,030	-	1,036	-	636	-	39.55		
20/7 1-2Q	17,429	-	2,233	-	2,260	-	1,278	-	79.79	0.0	872.39
20/7 3Q	7,795	-	-19	-	-55	-	-48	-	-3.16		
20/7 4Q	7,776	-10.1	497	-11.1	550	8	321	-8	19.91		
20/7期	33,000	2.6	2,711	-11.4	2,755	-9.1	1,551	-14	96.54	0.0	819.72
21/6 1Q	8,972	8.0	-83	TR	-93	TR	-155	TR	-9.57	-	847.30
21/6 2Q	9,054	-0.8	241	-76.6	255	-75.3	-36	TR	-2.29		
21/6 1-2Q	18,026	3.4	158	-92.9	162	-92.8	-191	TR	-11.86	0.0	838.05
21/6 3Q	9,128	17.1	265	TB	362	TB	30	TB	1.88		
21/6 4Q	5,415	-	-79	TR	59	TR	-123	TR	-7.62		
21/6期	32,569	-1.3	344	-87.3	583	-78.8	-284	TR	-17.60	0.0	810.44
22/6 1Q	10,484	16.9	1,321	TB	1,669	TB	1,136	TB	35.27	-	419.41
22/6 会社 従来	36,700	12.7	1,300	277.9	1,300	123.0	700	TB	21.42	0.0	
22/6 会社 従来	38,700	18.8	2,200	539.5	3,100	431.7	2,200	TB	68.27	0.0	
22/6 C&A 従来	38,300	17.6	1,450	321.5	1,750	200.2	1,300	TB	41.40	0.0	446.60
22/6 C&A 新規	39,300	20.7	3,100	801.2	4,000	586.1	2,800	TB	86.88	0.0	470.87
23/6 C&A 従来	46,000	20.1	3,100	113.8	3,100	77.1	2,170	66.9	69.10	0.0	515.70
23/6 C&A 新規	47,000	19.6	4,700	51.6	4,700	17.5	3,290	17.5	102.08	0.0	572.95

(2021.11.15)

(出所) 会社データ、C&A

(注) 2019年5月11日付けで1株につき1,000株の割り当てで株式分割している。これに関しては過去に遡及して表示している。

21/6 期は決算変更で 11 ヶ月決算となります。

会社は 21 年 10 月 1 日に 1 株を 2 株への分割を実施しており、今 22/6 期の期初から訴求して適用しています。

レーティング基準について

以下の定義に基づいてレーティングを付与しています。

Strong Buy

今後1年以内に株価がTOPIXを30%以上アウトパフォームすると予想する

Buy

今後1年以内に株価がTOPIXを10%以上アウトパフォームすると予想する

Neutral

今後1年以内に株価がTOPIXを中心に±10%未満の変動と予想する

Sell

今後1年以内に株価がTOPIXを10%以上アンダーパフォームすると予想する

留意事項

本資料は、情報提供のみを目的として各種のデータに基づき作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがあります。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。なお、C&A Investment Research. 及び、同関連会社の社員、役職員又はその家族はこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。この資料の著作権はC&A Investment Research. に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。